

令和 6 年度 第 2 回米子市総合計画審議会 議事録

〔日 時〕 令和 6 年 1 0 月 2 2 日（火）午後 1 時 3 0 分から午後 3 時 3 0 分まで

〔場 所〕 米子市役所 5 階 議会第 2 会議室

〔出席委員〕 森田委員(会長)、深田委員（副会長）石田委員、内田委員、藏重委員、小竹委員
近藤委員、高増委員、田後委員、常松委員、中村委員、本池委員、森脇委員、矢崎委員

〔欠席委員〕 伊坂委員、藤瀬委員、藤縄委員

〔出席職員〕 佐々木総合政策部長、下関総務部長、長谷川教育委員会事務局長、赤井農林水産振興局長、毛利地域振興課長、最上情報政策課長、坂隠商工課長、相野都市創造課長、永榮こども政策課長、田中防災安全課長、宮本経済戦略課長、田仲観光課長、倉本交通政策課長、角総務管財課長、小乾市民一課長、渡部福祉政策課長、遠崎建設企画課長、横木下水道企画課長、足立環境政策課長、成田スポーツ振興課長、大塚文化振興課長、斎木まちづくり企画課長、

〔事務局〕 中本総合政策課長、松本総合戦略室長、高橋係長

以下、議事概要（注：議事進行及び資料説明は省略しています）

1 開 会

2 会長あいさつ

■森田会長

本審議会は、「米子市まちづくりビジョン」が、今年度で中間年を迎えるにあたり、様々な社会情勢の変化等を踏まえ、計画の見直しを行うために委員の皆様から様々な意見をいただくための審議会である。第 1 回会議では、令和 2 年度から令和 5 年度の取組の総括、次期まちづくりビジョンの策定に向けた検討の方向性についてを議題とし、委員の皆様にご意見をいただいたところ。本日は、次期まちづくりビジョンの骨子案等について議論いただくが、様々な視点から忌憚のない活発なご意見を願います。

3 議事『米子市まちづくりビジョン（仮称）』骨子案について

■森田会長

このたびの会議において委員から主に意見を求めたい部分はどこか。

□総合政策課長

このたび、まちづくりビジョン策定時に定めた 7 つの基本目標をベースに、基本方向等の磨き上げを行った。また、数値目標については、分かりやすい指標を考えた。いずれについても意見が欲しい。

■近藤委員

3点伺う。資料2頁目の骨子案について、共通する課題に人口減少への対応が掲げられているが具体的な取組は検討しているか。次に7頁目の数値目標について、各地域に色を出す指標もよいが、重点的なポイントを考え、まとめる手法もありではないか。最後に「人が集うまちづくり」から「歩いて楽しいまちづくり」に改編した理由を伺う。

□総合政策部長

人材不足については、個別のテーマではなく全ての分野を横断する大きなテーマとして考えている。具体的な対応策としては、4頁目に記載しているとおり、「雇用人材の確保」、「地域の担い手確保」など現時点での方向性を示している。数値目標については、コンパクトシティをめざす大きな方向性は変わらないが、各エリアのバランスを確認しながら、それぞれの地域の賑わい創出を行い、充実した豊かな暮らしの実現をめざしていく。基本目標の改編については、現在、「車中心」から「公共交通と歩行者中心」の空間へと転換し、人々が集い・憩い・多様な活動を繰り広げられる場へ生まれ変わらせる取組に重点化している。歩いて楽しいまちづくりについては国の補助を受けて進めている取組であり、5年計画のうち3年目を迎えている。今後も施策の柱となることから、名称変更を行ったものである。

■近藤委員

労働力不足について、地域の中から生み出すのか、または外部から補うのか。

□総合政策部長

地域の中は勿論のこと、Iターン・Uターン等を活用した人手確保を行っていくことも重要である。また、ある程度の人手不足に対応したDXや商品の付加価値向上などにも取り組んでいく必要がある。

■高増委員

3頁目「1-5の米子港・城下町周辺エリア」とはどの範囲までを指すか。また、角盤町に対しての具体的な取組はあるか。

□総合政策部長

米子港・城下町周辺エリアについては、人が賑わうスポットである米子城跡も含めたエリアと位置付けている。角盤町周辺の取組としては、高島屋エルモールの整備、朝日町への導線づくり、公会堂を中心とした活性化イベント等の実施など、ソフト・ハード事業の両面から取組を進めているところである。

■矢崎委員

「7災害に強いまちづくり」について、夏の猛暑対策を取組の1つとして加えて欲しい、クーラーを適切に使えない高齢者もいる。市が何ができるか分からないが、地球温暖化が進む中で危機感をもっている。海外製のプラスチックごみなどが道端で捨てられているのをよく見かける。例えば、市民一人ひとりがごみを減らしていくなど、

環境問題について考える機会があるとよい。市民を巻き込んだ取組を考えていくべき。

■ 蔵重委員

「2-7 国際的な地域間交流の推進」について、文化的な交流や経済的な交流を指すのか。方向性は決まっているか

□ 総合政策部長

文化的交流・経済的交流いずれの分野においても韓国、中国等との地域間交流を推進していく。来年は米子市にて台観光サミットも開催される予定であり注力していきたい。また、先日「クロアチア国際交流コンサート」が市内で開催され、クロアチア各地域の人と人との国際文化交流が飛躍するきっかけとなった。こちらについても交流を推進していきたい。

■ 蔵重委員

「3-2 子育て支援の充実」について、具体的な取組を伺う。

□ こども政策課長

公立保育所の建替え、一時預かり保育、誰でも通園制度、子どもの居場所の確保・充実などの取組を考えている。

■ 本池委員

4 頁目の主要な取組に、地域に応じた新たな住民自治の創造とあるが、地域課題の洗い出しはできているか。

□ 総合政策部長

地域振興課に地域活動支援員が常駐しており、公民館と日々コミュニケーションをとっている。市が一方的に指示を行うのではなく、協議を行いながら課題把握に努めている。

■ 本池委員

すべての課題を把握しているとの認識でよいか。

□ 総合政策部長

課題については多岐にわたるため、必ずしも全てが把握できているわけではないが、引き続き、各地域の課題把握に努めていく。

■ 小竹委員

2 頁目、めざすべき市の将来像『新商都米子の創造に向けて』は、米子らしさが出ている。私自身、I ターンで米子に来て起業しているが、米子は住みやすい。また、山陰両県と比べても起業しやすい。地産外商のまち

づくりを進める上で、企業誘致等に重点をおいていると思われるが、若者の起業・創業支援が重要である。現在は、SNSを活用すれば一人で生きていける時代である。「起業しやすいまちづくり」を打ち出し、県外に対してもPRすれば状況が変わってくるのではないか。検討いただきたい。

■矢崎委員

3 頁目「4-7 次世代につなぐ農業の推進」について、4 頁目の主要な取組に記載がないのは何故か。

□総合政策部長

4 頁目の主要な取組については、数あるものの中から、新規性があるものをピックアップして入れている。まちづくりビジョンの最終版（素案）には、取組内容を記載する。

■近藤委員

米子アリーナができる予定だが、規模が大きすぎて使いづらい部分があるのではないかと想定される。小規模なスポーツ施設（地区体育館）は残す方針なのか。また、今の若い世代は昔と比べて紙幣への考え方が違う、10 万円の収入であれば 10 万円の範囲内でできる生活で収まり、12 万円に収入を増やすような考えがないように感じる。これにより非正規が増え、税収があがってこない。就業状況について把握しているか聞きたい。

□総合政策部長

仕事の価値観が変わってきている。東大卒の学生も以前は国のキャリア採用に向かう傾向があったが、現在は起業をめざす傾向にあると聞いている。雇用の流動化や変化をできるだけ肯定的に捉え、取り組んでいかなければならない。

□スポーツ振興課長

まちづくりビジョンの主な取組として、老朽化対応及び時代のニーズに合わせたスポーツ施設の改修をあげさせていただいている。地区体育館については、残すか残さないかということも含めて、今後の在り方を検討していきたい。

■石田委員

大阪と米子は、ある一定の年齢層より若い人が入ってきているという点で似ている。これを踏まえ、高齢者に活動していただくまちづくりについても考えて欲しい。企業に勤める人が減っていく時代だが、若い世代に人生経験を重ねた方が様々な場面で伝えていくことにより地域の活性化が図れ、人材不足への対応にもつながる。フレイル対策の推進については、県立産業体育館にあるジムがあるが、あのような施設を公民館単位に配備するなど考えてみてはどうか。また、待機児童は 0 であるが、希望する場所に通えない状態があるので考えてみてほしい。

■内田委員

歩いて楽しいまちづくりのテーマについては、どういう楽しみがあるか。例えば、米子駅から彫刻ロード～米子城跡～美術館～歴史観など点になっているものを繋げることで歩くルートを考えてほしい。米子市のめだまになるのではないかな。

■藏重委員

現在、米子商工会議所の活躍員が 100 人程度いる。課題解決に向けた様々な取組に巻き込んで欲しい。自治会活動の転換について、回覧板が毎回紙媒体で回ってくるが、常に家に人がいるわけではない。また、全ての分野において情報発信が行き届いていないため、市の担当窓口がわからないことが多々ある。もっと効率よくやってほしい。

■小竹委員

今後の具体的な取組として、移住・定住促進が大事になる。空き家を活用した取組をしてみてもどうか。また、空き家を所有する側と活用したい側の相談窓口を 1 本化することにより、気軽な相談ができる状況があれば尚よい。また、空き家の利活用については、米子市と米子商工会議所でタッグを組んで取り組んでほしい。

■近藤委員

都会から地方へ帰ってきたとき、年収はガタッと下がるが、税金は前年の収入をベースにするので大変だと、30 代～40 代の就業労働者の方からよく聞く。何か市として出来ることはないか。また、人材不足解消について、若者が就職先を選択する際のポイントに、福利厚生（土日休日）を重視する傾向があると聞く。今の時代のニーズに答え、将来子どもたちが米子市に帰ってきたいと言えるまちづくりを進める必要がある。高齢者対策については、集会所等にスマートスピーカー設置し、フレイル対策を行うなど検討できないか。

■高増委員

米子アリーナ、美保の義務教育学校についてはこれからも目標にむかって取組を進めて欲しい。鳥大病院の再整備については、敷地の一部分となる湊山公園は市にとっても重要なものであるため、鳥大と連携強化を図るとともに市民の意見も交えながら、より良いプロセスを経て取り組んでほしい。

地域の活動拠点である公民館や小学校の施設を借りる際の手続きの簡素化や利便性向上について考えてほしい。また、公民館の施設の老朽化について、部分的にリノベーションなどできないか。手法の模索についても考えてみてほしい。地域の方にも関わっていただく形が望ましい。

■矢崎委員

次世代につなぐ農業の推進について対策をお願いしたい。農業の後継ぎがない、農業を始めても食べていけないとの声がある。農業の担い手がいなくなれば耕作放棄地が増えていくため、学校給食の地産地消に繋げるなどの支援などできないか。また、人と人とのつながりを作る場づくりも必要だと感じる。空き家バンクの活用についても考えてほしい。困っている人へのごみ捨て支援をもう少し考えてほしい。

■森脇委員

地産外商のまちづくりについて、J Aは国産国消に取り組んでいるが、現在、国内の食力自給率が40%をきっている状況である。地元の農産物についてはJ Aを通じて、市内の各学校給食にも使ってもらっている。J Aとしても、職員の派遣による食育等の様々な出前授業を行っている。白ネギは市の特産品だが近年なかなか定着しない状況である。白州美人のGI認証は国からのお墨付きであり、今後全国的にアピールできる強いブランド力となる。再生可能エネルギーの導入推進について、弓浜エリアに太陽光パネルの設置が目立っているが、遊休農地を活用した今後の取組について教えてほしい。

■本池委員

活発な地域は支援してもらえると良いが、パワーがない地域が支援があっても取り残される。パワーがないことが悪いのではなく、どの地域も取り残されることのない明確な取組を行うこと、住民自治と市のバランスをとることが大事である。弓浜地区のバスの実証運転が始まったが、1方向のみの運転かつ、1時間に1本の便であり不便な面がある。今後、コミュニティーバスの検証を行い、まちづくりに活かして欲しい。

■中村委員

6頁目の数値目標について、国際線の利用数は数値目標として設定しなくてもよいのか。出雲空港は年間100万人、国内の新規路線の開拓がインパクトとして強い。地産外商を進める上で、中海・穴道湖・大山圏域市長会の展示会開催の取組は人脈づくりのソフト事業として素晴らしい効果がある。顔を直接合わせるのが人脈が作れるポイントであり、今後も実施の検討をお願いしたい。

■常松委員

歩いて楽しいまちづくりについて、中心市街地以外の段差が多い場所や整備が必要な歩道等もあると思う。その辺りもしっかり対応して欲しい。DXを推進することは良いことだが、対面で話をすることも大事でありケースバイケースである。公民館を土曜日開放することによる地域コミュニティの活性化を図ることなどできないか。6頁目の数値目標「3教育の子育てまちづくり」の2つの指標は重要であり、現状の数値についても数値が高く驚いた。先日、けやき通りでも若者が中心となった活動があったが、大人についても同様の指標を検討してほしい。

■田後委員

孤立・孤独対策の推進について、高齢者夫婦が1人になった際の保証人問題や葬儀の段取りなどに対して、公的な仕組み（支援）が必要と考える

■深田委員

1頁目の「暮らし・人・賑わい」について、どのように現状分析をしてこの3つのワードがでてきたのか。5頁目のまちの土台づくりを示す指標には、DXや少子化などの共通課題の項目があてはまるのではないかな。とっとり電

子申請サービスの申請件数が人のカテゴリーとなる理由は何なのか。また、同資料の①と②がともに人の動きを示す指標となっているが、①については市民満足度の指標化をされており、別途適切な表現を考えてみてはどうか。これらを含め、全体的に資料の構成等を再度ご確認ください。医療リテラシー、フレイルチェックに関心を持ち、今後の主要な取組として、鳥大再整備の連携を掲げていることは大変ありがたい。再整備後の病院についても実際に「人」が一番重要なピースとなると考えている。先程、地域によってパワーが異なるとの発言があったが、それぞれの地域においてパワーバランスがあったとしても必ず良い部分はある。よい部分に着眼し伸ばすことが大切である。

■森田委員

人材不足への対応について、Uターン・Iターンの意見があった。県外に出ていった人が米子市に帰ってくるために施策をぜひ進めてほしい。また、外国人材の活用については、行政コストの兼ね合いもあるが、市としての対応を検討いただきたい。資料の流れについては、3頁目と4頁目の関連性を分かるような書き方にしたい。数値目標については、あくまでも目標なので高めに設定をしてほしい。

□総合政策部長

- ・資料の構成については見直しを行うとともに、3頁目と4頁目の紐づけを行う。
- ・数値目標については、目標値の適切な設定が難しいが、可能な限り意味のある設定になるように努めたい。
- ・公民館の利活用、高齢者の活用についても様々な意見があったが、引き続き、取り組んでいく。猛暑対策については、今年度、「涼みどころ施設」の1つに公民館を設けた。居場所づくりとして、今後はフルシーズンの活用について考えていきたい。
- ・歩いて楽しいまちづくりについては、ルート化（見える化）することがまさに課題であると感じており、年度内には何らかの形で示したい。
- ・DXについては、広報誌の電子化による配布方法について考えている。まずは実証的に行っていくこととしており、当面はハイブリッドでやらせていただきたい。
- ・起業がしやすいまちづくりについては、まさにそのとおりである。若い人がチャンスを生み出せるような観点を盛り込んでいく。
- ・Iターン・Uターン時の税負担については、トータルコスト（生涯所得）を含めた考えでご理解いただきたいが、地方創生2.0の活用の有無についても考えていきたい。
- ・鳥大再整備については、より市民が集まりやすい環境をつくっていくことが大切であり、引き続き、協議を行っていく。
- ・地域に応じた住民自治の創造については、それぞれの地域ができる範囲で行うことが前提である。公民館がすべて担うものではない、また、NPOなどそれぞれの役割を担う団体もある。
- ・弓浜地区のコミュニティーバスについては、実証実験の結果等を踏まえ取組を進めていく。
- ・数値目標における国際線の利用者数の設定について、米子－香港便が新規就航予定であり、これらも含め検討する。また、新規航路の周知についても行政として応援し、今後の動向について注視する。
- ・歩いて楽しいまちづくりについては、中心市街地だけが対象ではないが、費用対効果も含めた順番付けを行

っていく。

□環境政策課長

弓浜地区の荒廃農地における太陽光パネル設置については、脱炭素化の観点から行っているもので、その目的は、再生可能エネルギー導入の促進である。また、セイタカアワダチソウによる景観被害やヌカカ発生による害虫被害といった地域課題の解消も併せて行っている。なお、必要なエネルギー（需要量）に応じた太陽光パネルの設置を行っており、今後、際限なく設置を続けることはない。農地については守っていかなければならず、荒廃農地対策として太陽光パネル設置を進めているものではない。

□赤井農林水産局長

現在、農業者の高齢化や後継者不足による様々な課題について、地域で話し合いの場を設け、10 年先を見据えた持続可能な農業をめざす地域計画を作成している。また、荒廃農地の解消と新たな発生の防止のため、担い手への農地集積・集約を支援するとともに、白ねぎ等の特産物及び芝等の新たな農産物の生産振興や、農業経営基盤整備事業の推進など農地の利活用に関する取組を行っているところである。

□福祉政策課長

孤立・孤独対策については、「えしこに」を中心とし、ひきこもり対策などを行っている。また、高齢者の単身世帯、身寄りのない方などの保障人、葬儀問題については現在検討している段階である。

□総合政策課長

本日は、フレイル対策の所管課がないが、米子市は先進的にフレイル対策の専門の課を設置する等力を入れている。高齢者対策については、健康寿命の延伸が重要であることから、東部・中部・西部にフレイル対策の拠点を設置し、フレイル予防実践教室を公民館で実施しているが、集会所等より多くの場所での実施も含め更なる推進を図りたい。フレイルチェックの推進を図るとともに、地区担当保健師、地域福祉活動支援員が各地域に出向いてフレイル対策の活動も行っているところであり、課題についても整理している状況である。

4 その他

□事務局

次回審議会の開催スケジュール等について説明

5 閉会